

市長とミライとーく 報告書

令和6年7月5日

日 時	令和6年7月1日（月） 18:30 ～ 20:00		
会 場	関市役所7階 つなぐガーデン （関市若草通3丁目1番地）		
対 象 者	10代、20代の方	参加者	9人
テ ー マ	「若者の選挙事情について」		
担 当 課	財務部 行政情報課 選挙管理委員会事務局		

【参加者からの意見や提案】

<テーマ①「皆さんの選挙に対する思いや考えを教えてください！」>

- ・選挙権を得たら投票に行きたいと思っているが、どうやって候補者等の情報を集めたらよいか分からない
- ・候補者等の情報が分からない時、曖昧な情報だけ持って投票するのはよいのだろうかと思う
- ・投票所に気軽に行けるとよいと思う
- ・若者の投票率が低いという話をよく聞くので、学校でどの程度の選挙に関する授業や時間がとられているのか気になっている

<テーマ②「家族や友人などと選挙に関する話をしたことがありますか？」>

- ・家族の意見を参考にする
- ・友人とは堅苦しい感じがしてそういった話はしない
- ・親に毎回「選挙には行ったの？」と聞いている
- ・学校のディベート形式の授業などで友人と話すことはある
- ・自分があまり選挙に興味を持てず、家族と深く話したことはない
- ・選挙ビラなどを見ながら親とこの人はこんな公約なんだな。いいんじゃないかなといった話をする
- ・職場で選挙の話をするのはよくある。街をどうしたいかなどといった話題がきっかけになる

<テーマ③「投票に（ついて）行って気付いた良かったこと、悪かったこと」>

- ・投票所が良くも悪くも堅苦しい。子ども視点では近づきがたく感じた
- ・紙の名簿による本人確認の時間が長かったため、デジタル化できないかと思った
- ・投票所は公共施設が多いため、選挙自体に行こうという意思がないと行かない。買い物や遊びついでにいける投票所があるとよいのではないか

＜テーマ④「どうすれば若者が関心をもって選挙へ行けることができると思いますか？」＞

- ・コンビニなど気軽に行ける場所で、買い物ついでなどに投票できるとよいのではないか
- ・高校などで模擬選挙を実施してもらい、学生に選挙を身近に感じてもらうとよいのではないか
- ・ネット投票ができるとよいのではないか
- ・アニメ等の若者がよく触れるコンテンツとのコラボグッズなどを貰えるとよいのではないか
- ・本町などの商店街で活用できるクーポンなど、少し得ができる制度があるとよいのではないか
- ・学校の授業で友人と話す機会があると、選挙がどういったものかという理解が深まるため、そのような機会を増やすのが大事だと思う
- ・学生の頃からもっと教育をしたほうがよいのではないか。生徒会選挙のある学校であれば作業のように進めるのではなく、それを通じて選挙がどういったものなのかということを教えてあげられるのではないか

【担当課の考え】

今回は選挙という難しい話題ながら中学生、高校生、大学生、社会人と様々な立場の方にご参加いただき、多様なご意見等をいただいた。

その中でも選挙、特に候補者の情報をどのようにして集めればよいのかという悩みが多かった。候補者情報を得る手段として、選挙管理委員会のほうで選挙公報を発行し新聞折込や公営施設、銀行等への設置を行っているが、認知度は低いように感じられた。このことからこれまでの周知方法（広報せき、あんしんメール等）について、改めて見つめ直したい。また学校の授業で選挙がどういったものかという知識は学べるものの、親などの周囲の人と選挙に関する話を深掘りすることが少なく、どういった情報収集手段があるかを探るきっかけが生まれにくいことも前述の悩みに繋がっているのではないかと考える。

その他には、その雰囲気や性質などから投票所に気軽に行くことができないという意見と、投票まわりのデジタル化や投票した特典などがあるとよいのではないかという意見が目立った。投票所の厳粛な雰囲気については秩序保持のため緩和は困難だが、マーゴの期日前投票所などは買い物ついでに行くこともでき、心理的ハードルは低いのではないかと考えているため、一層の周知に努めたい。また、デジタル化のうちネット投票については法整備もされておらず、課題も山積していることから、いつ導入されるかなど全く予想が付かない。本人確認などのデジタル化については選挙システムを国の方針に基づき令和7年度末までに標準化された新しいものへ移行することから、その後に効果や費用などをふまえて検討したい。また公職選挙法には「選挙人の自由に表明せる意思」によって選挙が行われることを確保するという目的があり、特典などにより選挙人を投票所に誘導することは、これに沿ったものとは言えないと解されており、本市においても実施していない。

【今後の対応】

- ・選挙公報の周知方法の見直し
- ・模擬投票などの主権者教育の拡大
- ・マーゴ本館期日前投票所の更なる周知
- ・デジタル化可能な事務等の精査と移行検討

【当日の様子】

